

令和2年6月1日

令和2年度 藤井寺市立藤井寺中学校 第1学期 始業式

校長講和

全校生徒の皆さん、おはようございます。

例年であれば希望に満ちた新学期がスタートし、1年生も少しずつ中学校生活に慣れてきて、今頃は、みんなどの学年においても、さまざま学校行事を経て、中学校生活が軌道に乗ってくる、そんな頃ではないでしょうか。しかし、今年は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、学校休校を余儀なくされ、1学期のスタートを切ることができていません。

長い間、本当にお待たせしました。今日、6月1日、やっと学校再開の日を迎えました。

こんなにも遅れてしまったこと、戻っては来ない4月・5月への無念さは、確かにありますが、先ずもって、私は、今日の日を迎えることができたことを、全校生徒の皆さんと、そして先生方ともいっしょに、喜びたいと思います。そして、新型コロナウイルスに対して、人々の命・健康を守るために、身を挺してお仕事に従事しておられる医療関係の方々をはじめ、私たちのライフライン、日常生活を維持するために頑張っておられる、すべてのご職業の方々に敬意の気持ちを込めて、お礼を申し上げたいと思います。さらに、長い期間に渡って、ステイホームの合言葉のもと、さまざまな行動・日常に自粛協力をしてこられた方々に、生徒の皆さん、あなたたちも協力してきた市民の一人です（よく頑張りましたね）、コロナ感染防止に協力してきたすべての人々に、「ありがとうございます。ここまでよく頑張りましたね」と、お礼と労いの言葉をおかけしたいと思います。そして、「このウイルス感染が完全に終息するよう、これからも共に力を合わせ、ウイルスに立ち向かうための行動を続けてまい

りましょう」とお伝えしたいと思います。

さて、今日からの学校再開に当たり、私から皆さんにお願いがあります。

先ず第一に、毎朝、自宅で体温を測って学校に来てください。そして、風邪の症状（咳、だるさ、息苦しさ、喉の痛み、頭痛）がないことを確認してください。もし、体調が優れないときは、登校をせずに自宅で療養してください。もちろん、担任の先生への連絡は必ずしてください。

そして、皆が集う学校生活についてですが、感染を防ぐためには、一人一人が「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」といった（衛生）行動を徹底しましょう。ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく、周りの人のためにもすることが大切です。

皆さんへ2つ目のお願いです。これ、大切なお話です。テレビ等の報道で皆さんも聞いているかと思いますが、感染された方や医療に従事してくださっている方々、そしてその家族に、根拠のないデマや誹謗・中傷・嫌がらせの言動が、実際起こっています。

これは、大変不幸な事件です。私たちが共に暮らしていく社会において、絶対あってはならないことであると思います。ウイルスという見えないことの不安から、特定の対象（人）に見える敵とみなし、不快感を与える存在と決めつけ、その人を偏見・差別して遠ざけることで、束の間の安心感を得ようとする、そのような行為は決して許されるものではありません。

「自分に誠実に、他人には労りと優しさ、尊重・尊敬の気持ちを持って、共に大切にしよう言動を通した生活を送りたいものです。」

今日から学校が再開されました。全校生徒470人にも上る皆さん一人一人が生活をしていく中で、誰かが体調が優れない日もきっとあります。熱が上がってしまい、早退する人、

欠席する人も出てくるでしょう。一時、健康を崩した人が、「誰かに嫌がらせをされるのはいやだから、差別を受けるのが怖いから、熱や咳があっても先生や親に相談することをためらって過ごしてしまう。」そんな不安や心配を抱え、しんどい思いをする生徒が存在する学校であってはなりません。そんな藤中生の間柄であってはなりません。体調が優れない人や欠席した人が、何の心配も不安もなく、安心して体を療養できる、そんな藤井寺中学校、体調が優れない人には、「無理したらあかんで。ゆっくり療養しいや」と温かく優しいいたわりの言葉が飛び交う間柄、そんな空気が通い合う藤井寺中学校、藤中生であるよう、全校生徒の皆さんと先生方で創り上げていきましょう。

最後になりますが、皆さんは、アインシュタインという人をご存じですか。アインシュタイン博士、一度は聞いたことがありますね。アインシュタイン博士は、現代物理学の父とも呼ばれ、今から、約100年前、42歳の若さでノーベル物理学賞を受賞した人です。「相対性理論」を発表した、このことは特に有名ですね。

アインシュタイン博士は、数多くの名言・言葉を世に残していますが、その一つに、In the middle of difficulty lies opportunity. (いかなる困難の途中にこそ、チャンスが横たわっている) という名言があります。私は、現在のコロナ禍の社会状況のなか、この言葉が脳裏に浮かんできます。そして、今だからこそ、大切にしたい言葉であり、皆さんにも贈りたいのです。

コロナウイルスの影響で、これまで当たり前に行っていたことが奪われ、制限された、当たり前ではなくなる中で、辛くて苦しい今、あなたたちが感じたこと、見つけたこと、出会った人、学んだことを大切にしてほしいのです。例えば、オンラインによる人と人とのコミュニケーションの機会は、ぐんとスピードアップしています。また、先日 町で出会った藤

中の卒業生、皆さんの先輩が、私にこんなことを言ってくれました。「校長先生、こんな世の中になり、私、一日一日をもっと大切に過ごしていかなければと思うようになりました。これからの3年間、たぶんあつという間の高校生生活だと思う。今しなければいけないこと、したいこと、行きたいところ、出会った人とのつながり、今なら大切にできそうです。」と。アインシュタインが我々に語っているように、困難な今だからこそ、大切な機会をゲットしてほしい。今の自分の状況に、逆境に、不遇に、いつまでも不満を言い、文句を言い続け、いつまでも立ち直れないあなたであってはいけません。早期に気持ちを入れ替えて、次の目標に向かって頑張りましょう。自分を奮い立たせてほしいと思います。

令和2年度の1学期始業式は、ICT機器を活用した、このような形で行いました。次回は、体育館で、直に皆さんと顔を合わせて、肌感覚でお話をきいていただける会が開催できますことを心待ちにしています。では、みなさん、楽しい1学期をプロデュースしていきましょう。

1学期のスタートに当たり、私の言葉とします。